

シネマ

シネマ・ニュース
June.2000 No.47

CINEMA

特集

内田吐夢 監督特集

特別企画

イメージフォーラム・フェスティバル 2000

特集

インド娯楽映画の神髄 ~マニラトナム監督特集~



負けたらそのあとがない真剣勝負。張り詰め過ぎると必ず負ける。戦う相手は本当は自分であることに気付く。

『真剣勝負』 イラスト&文:山下良平



特集 インド 娯楽映画の神髄

~マニラトナム監督特集~

社会派娯楽映画で、インド映画の最先端を行くマニラトナム監督の特集。

会期：1日(木)～4日(日)

観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。
※チケットはすべて当日券です。前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

96年のアジアフォーカス・福岡映画祭でマニラトナム監督の「ボンベイ」が初めて日本で上映された。それは「マニラトナム・ショック」と呼ぶにふさわしい衝撃の体験だった。インドの娯楽映画は歌と踊りを中心にしたメロドラマであることは有名だが、「ボンベイ」の圧倒的なパワーはその常識を打ち破るものだったのだ。多くの日本の観客がその映像と音楽に魅了され、とうとう「ボンベイ」はロードショー公開される。そしてインド映画の知名度を一気に高めることに貢献する。今回の特集ではマニラトナムの名前をインドで一気に高めた出世作「ロージャー」からマニラトナム演出が円熟に達した「ザ・デュオ」まで3本を上映する。踊りだしたくなるリズムカルな音楽、絶世の美女による豪華絢爛たるインド舞踊、めくるめくマニラトナム監督の世界に浸っていただきたい。

プログラムA

日本招待作品＋一般公募入賞作品
「つち」イラナホシナ/1999年/ビデオ/30分/一般公募部門奨励賞
「INCORRECT INTERMITTENCE」太田曜/2000年/16ミリ/7分
「あたたかい森」上岡文枝/2000年/16ミリ/29分
「ファールグラウンド」小沢和史/1999年/16ミリ/23分/一般公募部門入選
「イコ」クラムNo.9/黒川芳朱/2000年/16ミリ/12分
「夢の陰影」田名綱敬一/2000年/16ミリ/4分
「闇の記憶」田名綱敬一/2000年/16ミリ/4分

プログラムB

日本招待作品＋一般公募入賞作品
「IZANAMI」西村昭彦/1999年/ビデオ/35分/一般公募部門審査員特別賞
「大谷健太郎のラジオアワー」
高藤ユキエ＋大谷健太郎/1999年/ビデオ＋16ミリ/36分
「アホの原チャリ娘ー悲しいラジオー」帯谷有理/2000年/ビデオ/25分
「WIND」相原信洋/2000年/16ミリ/8分

プログラムC

日本招待作品＋一般公募入賞作品
「ダンスとしてのフィルム」万城目純/1998年～99年/8ミリ/18分
「胎内翔」小池照男/1999年/ビデオ/7分
「春山妙美信女」小池照男/1999年/ビデオ/14分
「職業映画監督」我妻まや/1999年/ビデオ/30分/一般公募部門奨励賞
「SLIDE」佐藤義尚/1999年/ビデオ/7分/一般公募部門入選
「De-Sign 11(Flow)」
ピジュアル・ブレインズ(風間正＋大津はつね)/2000年/ビデオ/12分
「物語以前」鈴木志郎康/2000年/16ミリ/19分

プログラムD

一般公募大賞・入賞作品
「日日常」能瀬大助/1999年/16ミリ/36分/一般公募部門入選
「でかいメガネ」坪田義史/1999年/8ミリ/72分/一般公募部門大賞

プログラムE

日本招待作品＋一般公募入賞作品
「般家-KARAYA-」竹藤佳世/2000年/16ミリ/28分
「by the way」緒方篤/1999年/ビデオ/6分
「バトス」ユンファン/1998年/16ミリ/14分/韓国/一般公募部門奨励賞
「黙の処刑」白川幸司/2000年/ビデオ/59分

プログラムF

日本招待作品
「ポテドロップアスファルト」和田淳子/2000年/ビデオ/90分
和田淳子トークショー

※映像作家の和田淳子氏が来福。自作について語る。

特別企画

イメージフォーラム・フェスティバル

日本最大の実験映画のコンペティションであるイメージフォーラム・フェスティバル。日本及びアジア各国から公募された537作品から、優秀作品を選出。映像作家の招待作品と併せて、映像の"今"を紹介する。また6月10日(土)4時の上映では映像作家の和田淳子氏を迎えてトークショーあり。

プログラムG

日本招待作品「旅の繪」シリーズ三部作
「時の繪」かわなかのぶひろ/1998年/16ミリ/30分
「夢の繪」かわなかのぶひろ/1999年/16ミリ/40分
「空の繪」かわなかのぶひろ/2000年/16ミリ/30分

プログラムH

日本招待作品＋一般公募入賞作品
「おれたちの川ー濁流編ー」近藤太/1999年/ビデオ/37分/一般公募部門入選
「オン」前田真二郎/2000年/ビデオ/72分

プログラムI

特集・トリッキー・イメージ(1)サイモン・パメル作品集
「墮天使の密かな愉しみ」サイモン・パメル/1999年/ビデオ/11分/イギリス
「汚れ」サイモン・パメル/1992年/ビデオ/1分/イギリス
「キュービッド」サイモン・パメル/1992年/ビデオ/15秒/イギリス
「聖徒とという誘惑」サイモン・パメル/1993年/ビデオ/14分/イギリス
「薔薇のように赤く」サイモン・パメル/1994年/ビデオ/18分/イギリス
「進化」サイモン・パメル/1996年/ビデオ/5分/イギリス
「痛み」サイモン・パメル/1996年/ビデオ/6分/イギリス
「デジタルベイビー」サイモン・パメル/1995年/ビデオ/2分/イギリス
「肉屋の吊り金」サイモン・パメル/1996年/ビデオ/7分/イギリス
「RAY GUN FUN」サイモン・パメル/1998年/ビデオ/11分/イギリス

プログラムJ

特集・トリッキー・イメージ(2)
「時候のご挨拶」フィル・マロイ/1999年/ビデオ/5分/イギリス
「太陽風」水上弘/2000年/ビデオ/7分
「リム・ヴド」ナオミ・ユーマン/1999年/ビデオ/7分/アメリカ
「RIDE THE LIGHT」岡本彰生/2000年/ビデオ/4分
「FERMENT」ティム・マクミラン/1999年/ビデオ/4分/イギリス

1/木 2/金 4/日
14:00 19:00 11:00

ボンベイ

1995年/35ミリ/カラー/152分
インド(ヒンディー語)
監督:マニラトナム
出演:アラヴィンドスワミ



インドで実際に起こったヒンドゥー教徒とイスラム教徒の武力衝突を背景に、ヒンドゥー教とイスラム教の家庭に育った二人の恋愛を描いた作品。A. R. ラフマンのダンスパルな音楽と、マニラトナム監督の素晴らしい演出により、全インドで大ヒットを記録した作品。

1/木 3/土
19:00 11:00

ロージャー

1992年/35ミリ/カラー/140分
インド(タミル語)
監督:マニラトナム
出演:マドゥバラー



北インドのカシミール地方を舞台に、ゲリラに誘拐されたりシと、夫・リシの解放を訴える妻・ロージャーの愛を描いた物語。美しいロケーションを生かしたダイナミックな歌と踊り、社会的メッセージを持った物語などが評判となり、インド各州でヒット、監督の名前を一躍有名にした作品。

2/金 3/土 4/日
14:00 15:00 15:00

ザ・デュオ

1997年/35ミリ/カラー/166分
インド(タミル語)
監督:マニラトナム
出演:モーハンラール



映画スターとして絶大な人気を博すアーナンドと、政治活動に熱心な脚本家のセルヴァム。二人の友情を軸に、やがて二人が政敵として対立していくまでをマニラトナム独特の演出で描いた大作。ミス・ワールドに輝くアイシュワリヤ・ラーイが本作で映画デビュー、息をのむ美しさを披露している。

会期：7日(水)～11日(日)

観覧料：1,000円(当日1回券)
800円(前売り1回券)
2,100円(3回券)
4,500円(フリーパス券)

※定員制、各回入替制。
※前売り券はローソンチケット(092-844-5945)、チケットびあ(092-708-9999)で発売中。
※高齢者及び障害者割引はありません。

主催：イメージフォーラム・フェスティバル実行委員会
福岡市総合図書館 横浜美術館 イメージフォーラム



アホの原チャリ娘ー悲しいラジオー



ファールグラウンド



日日常



でかいメガネ

	2:00	4:30	7:00
6/7 水	A	I	J
8 木	C	G	E
9 金	H	B	M
	11:00	1:30	4:00
10 土	K	L	F
11 日	I	D	J

プログラムK

「SUD(南)」ジャンタル・アケルマン/1999年/ビデオ/70分

プログラムL

ダンス/コスチューム
「一夜、一生」オリヴァー・ヘルマン/1999年/ビデオ/38分/ドイツ
「KIMONO」バル・ハートリー/2000年/ビデオ/26分/ドイツ
「WEE THREE(オシッコ三人組)」
マット・ハルス/1998年/ビデオ/5分/イギリス
「THREE」アイザック・ジュリアン/1999年/ビデオ/17分/アメリカ

プログラムM

「皮肉テレビ2」
ダニエル・チプリナフランコ・マレスコ/1992年/ビデオ/91分/イタリア

上映スケジュール

特集

うちだ とむ 監督特集

豪快で男性的な作風で愛され、戦前から戦後にかけて活躍した日本映画の巨匠・内田吐夢監督の特集

会期：14日(水)～25日(日)

※休館日・休映日を除く

観覧料：500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券です。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

1898年、岡山に生まれた内田吐夢は1920年に大活入りする。そこで俳優や助監督などを務める。その後、巡業劇団に入ったり、短編教育映画の監督や、日雇い労働者などをしていたというが、詳しいことは判っていない。1925年に日活に入社。1927年監督昇進。日活では初めに喜劇を作っていたが、1929年、生ける人形で社会的、思想的監督と目されるようになる。この作品はその後、流行する傾向映画(社会主義的傾向を持った映画の最初の作品といわれている。内田はその後も弱い立場の人間、貧しい人間を丹念に力強く描いていく。1936年「人生劇場」、1937年「限りなき前進」をへて1939年「土」ではこうした彼の姿勢が明確に現れている。貧農の暮らしを一年を通して描いたこの力作は、重厚なリアリズムで描かれている。戦後は1953年まで中国に留まり、帰国後、東映で「血槍富士」を監督、1961年から吉川英治の「宮本武蔵」を一年一作・五部作として映画化。数ある武蔵ものの中でも最高傑作とした。戦後は時代劇が多かったが「飢餓海峡」など現代劇でも傑作を残し、1970年亡くなった。

内田吐夢監督特集講演

内田吐夢の世界を語る

～「飢餓海峡」の脚本家・鈴木尚之氏を迎えて～

18日(日)13:00～14:30

※開場は開演の30分前

※入場は有料制で、当日の「飢餓海峡」の観覧料に含まれます。

●出演●

さえき ともり 佐伯知紀×鈴木尚之 すずき なおゆき

佐伯 知紀

(東京国立近代美術館フィルムセンター主任研究官)

鈴木 尚之

(脚本家)



1954年、愛媛県生まれ。フィルムセンターの主任研究官として、日本映画史の研究とともに、失われたフィルムの発掘・補修・保存に携わり、「忠次旅日記」の復元公開、「瀧の白糸」の最長版作成を担当した。編著に「映画読本・伊藤大輔」(フィルムアート社)、共著に「日本映画とモダニズム1920-1930」(リプロポート)などがある。



1929年、岐阜県生まれ。54年に東映入社、助監督経験を経た後、脚本課に移籍。内田吐夢監督「宮本武蔵」の脚本に起用されたことを契機に脚本家への道を進む。以後、内田吐夢監督の「宮本武蔵」5部作、「飢餓海峡」、田坂具隆監督の「五番町夕霧楼」、今井正監督の「武士道残酷物語」等の作品を手がける。67年からフリー。93年よりシナリオ作家協会会長を務める。

土

14水
19:00

1939年/16ミリ/モノクロ/92分/日活
原作:長塚節/出演:小杉勇・風見章子



厳しい農民の生活を一年を通して重厚なリアリズムで描いており、撮影には三年を要したという。戦前の作品のため完全版が現存しておらず、冒頭及びラストが欠落しているが、日本映画史上を代表する名作であり、その後「農民映画」というジャンルが生まれた。

17土
11:00

血槍富士

1955年/35ミリ/モノクロ/94分/東映
原作:井上金太郎/脚色:八尋不二・他/出演:片岡千恵蔵



満州で終戦を迎えた内田吐夢はそのまま、中国に残って53年に帰国。戦後第一作となったのがこの作品である。江戸に向かう若様と槍持ちとして付き従った権八は道中、様々な人間模様と触れて封建制の理不尽さと人の情けを知るようになるが…。

14水
14:00

17土
15:00

22木
19:00

黒田騒動

1956年/35ミリ/モノクロ/108分/東映
原作:北条秀司/出演:片岡千恵蔵・大友柳太郎



江戸時代、黒田藩のお家騒動をもとに首謀の一人であるお秀の方が切支丹であるという新説に基づく北条秀司の原作の映画化。新任家老・倉橋十太夫と殿の妾・お秀の方が結託して幕府に謀反を企むが、重臣・栗山大膳の機転により、これを防ごうとする。

15木
14:00

24土
11:00

妖刀物語 花の吉原百人斬り

1960年/35ミリ/カラー/108分/東映
脚本:依田義賢/出演:片岡千恵蔵・水谷良重



歌舞伎の「籠釣瓶花街酔醒」をもとに依田義賢が脚色した異色時代劇。顔に痣のある野州佐野の織物問屋の主人・次郎左衛門が、吉原の遊女・玉鶴に手玉に取られる。それに気付いた彼は、太夫となった彼女の行列に妖刀・村正を持って斬り込んでいく。

15木
19:00

22木
14:00

24土
15:00

飢餓海峡

1964年/35ミリ/モノクロ/182分/東映
原作:水上勉/出演:三国連太郎・伴淳三郎・左幸子



昭和22年、台風10号による青函連絡船転覆事故と北海道の質屋押し込み強盗殺人放火事件。転覆事故の死体に混じり、乗船名簿にない二人の身元不明死体が発見される。様々な人間が運命に翻弄されていく姿を描いた内田吐夢の代表的な傑作。

18日
14:45

21水
14:00

23金
18:00

人生劇場 飛車角と吉良常

1968年/35ミリ/カラー/109分/東映
原作:尾崎士郎/出演:鶴田浩二・辰巳柳太郎・藤純子



・何度となく、映画化された「人生劇場」だが、最初の映画化は戦前、内田吐夢によるものである。本作は内田自身としては二度目の映画化であり、原作の第三部残侠編を中心に映画化している。大正の時代色がよく出ていて人物描写も巧みな佳作。

16金
14:00

21水
19:00

25日
15:00

真剣勝負

1971年/35ミリ/カラー/76分/東宝
原作:吉川英治/脚本:伊藤大輔/出演:中村錦之助・三国連太郎



内田吐夢の代表作である「宮本武蔵」五部作の番外編とでもいべき作品であり、鎖鎌の名手・穴戸梅軒と武蔵との死闘を通して、命のやりとりをする極限状態の人間の内面を描く。内田はこの作品の撮影中に倒れ、完成を見ずに死去している。

16金
19:00

23金
14:00

25日
11:00

ビデオライブラリー、映像ホール・シネラは、開館当初から人気のある所です。その受付担当は、映像資料課の中では一番、利用者と接する機会が多く、皆様からの厳しいご意見や、楽しい話を直接聞かせていただく場所でもあります。最近の経験では、映像ホール・シネラの「原節子特集」・「田中絹代特集」での反響が印象深く、沢山の声を頂きました。

- 「初めてこの映画を観た時は13か14歳位だったのに、今はもうシルバー手帳を持つ年齢になってしまいました」(中央区の背すじのシャンとしたご婦人でした)
 - 「原節子さんはとってもキレイな人やったよ。あなた達の生まれるずっと昔の人やけん知らんやろ？」(やっぱり、博多のごりよんさんでした)
 - 「子供の頃、エキストラで出たけん、観に来たとよ」(昔、わんぱく坊主だったんでしょね…想像してみると。)
 - 「いつも良い映画をありがとう」(声がとても響く中年の方でした。)
- 帰り際に声を掛けていかれる方や、ホールの口ビーでそれぞれの思い出話をされている方々の姿を見ていると、上映(約1時間半)の短い時間を有意義に過ごされたんだなあ、こちらまでうれしくなることもあります。
- ビデオブースでも同じ様な風景を見る事が出来ます。古い邦画はレンタルビデオ店ではあまり置いてないらしく、ビデオライブラリーで見つけてやっと観る事が出来た方が「ありがとう」



「受付暖流」

と言って帰られたこともありました。一方、厳しいご意見の中に、「何回来て待ち時間が長いから……」と言って納得できずに帰られる方もいらっしゃるやいます。私たちとしても、多くの方々が一度に集中してご利用された場合は、どうしても対応ができず、とても残念に思います。「また来て下さるかなあ?」と不安にも思います。それでも、ビデオブースの人気は根強く平日でも平均1時間待ちの状態です。慣れた方は、ビデオを待っている間に音声ブースを使って工夫しながら「図書館ライフ」をエンジョイされているようです。ビデオだけでなく、CDを利用される方々とも、いろいろな交流があります。CD7,000枚、VTRテープ6,000本の在庫の全部を暗記するのは大変です。パツハやハイドンなどのクラシック音楽や三味線などの純邦楽の専門分野では、どうしても得手不得手の場面があります。そんな時に、利用者の「人生のベテラン(教養豊かな…)!!」さんから教えて頂く事もあります。中には「この曲は聴きやすいので聴いてごらん!!」と、名曲を教えてください、作曲家や演奏者について教えて下さる方もいらっしゃるやいます。とても勉強になっています。

この図書館は全国でも有数のビデオブースと映像ホールを誇っていますが、受付担当者にとっては、利用される皆様とのコミュニケーションがもっとも大切な基礎であり、皆様楽しい時を過ごせればと思っています。

映像受付担当 船津 勝代

INFORMATION お知らせ

ギャラリー展示
第4回文書資料新収蔵品展
「郷土福岡の歴史」

平成10年度に新たに、御寄贈、御寄託いただいた文書資料、及び当館が購入した文書資料の中から代表的なものを選んで、第4回文書資料新収蔵品展を開催いたします。

会期: 6月29日(木) ~ 8月31日(木)
会場: 福岡市総合図書館 1階ギャラリー
観覧料: 無料

お問い合わせ/福岡市総合図書館文書資料課古文書係

シネラNEWS送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成12年7月号~平成13年3月号までの郵便切手(90円×9月)を同封の上、下記宛先へお申し込みください。
宛先: 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 映像資料課

ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影された8ミリビデオや各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料 1時間500円、連続使用3時間迄、デジタルビデオの編集は不可)
※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラで自主上映(非営利に限る)を希望される方は、下記のとおり利用申込みの受付を行いますのでお申し込みください。

- 利用申込対象期間
平成12年12月から13年5月まで
※別途配布の申込用紙に対象日を掲載しています。
- 申込受付期間
平成12年6月1日(木)~6月13日(火)
※休館日を除く

- 抽選日
平成12年6月17日(土)午前11時より
- 抽選会場
福岡市総合図書館・3階第2会議室
- 利用申込用紙
福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出し下さい。
- お問い合わせ
福岡市総合図書館映像資料課(事業係)
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
TEL 092-852-0608

6 上映スケジュール

1	木	マニラ 14:00 ボンベイ	19:00 ロージャー
2	金	14:00 ザ・デュオ	19:00 ボンベイ
3	土	11:00 ロージャー	15:00 ザ・デュオ
4	日	11:00 ボンベイ	15:00 ザ・デュオ
5	月	休館日	
6	火	休映日	
7	水	14:00 プログラムA	16:30 プログラムI
8	木	14:00 プログラムC	16:30 プログラムG
9	金	14:00 プログラムH	16:30 プログラムB
10	土	11:00 プログラムK	13:30 プログラムL
11	日	11:00 プログラムI	13:30 プログラムD
12	月	休館日	
13	火	休映日	
14	水	14:00 血槍富士	19:00 土
15	木	14:00 黒田騒動	19:00 妖刀物語 花の吉原百人斬り
16	金	14:00 人生劇場 飛車角と吉良常	19:00 真剣勝負
17	土	11:00 土	15:00 血槍富士
18	日	13:00 講演会	14:45 飢餓海峡
19	月	休館日	
20	火	休映日	
21	水	14:00 飢餓海峡	19:00 人生劇場 飛車角と吉良常
22	木	14:00 妖刀物語 花の吉原百人斬り	19:00 血槍富士
23	金	14:00 真剣勝負	18:00 飢餓海峡
24	土	11:00 黒田騒動	15:00 妖刀物語 花の吉原百人斬り
25	日	11:00 真剣勝負	15:00 人生劇場 飛車角と吉良常
26	月	休館日	
27	火	休映日	
28	水	休映日	
29	木	休映日	
30	金	月末休館日	



交通アクセス: 当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分
西鉄バス: 天神~都市高速経由~福岡タワー南口 (所要時間 昼間で約20分)
博多駅~都市高速経由~福岡タワー南口 (所要時間 昼間で約25分)
福岡タワー南口バス停から徒歩3分
いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

編集雑記
今月の内田吐夢監督特集は、時代劇からサスペンス物まで様々な映画が楽しめる。飢餓海峡では、優しさや非情さが同居した三国連太郎の怖さが光り、最近の釣りバカシリーズとは一線を画している。また、刑事役の高倉健は寡黙で一途な役回りだが、その後の任侠シリーズでスターダムにのし上がった片鱗が窺える。(企画担当者からは恐ろれるかも知れないが、高倉ファンとしてはいつか絶対に東映任侠シリーズを企画するぞ!!) (H.I)